
日々

鬼夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日々

【Nコード】

N0748C

【作者名】

鬼夜

【あらすじ】

私の1日を小説にして書いた物です。詩っばいかもしれませんね。

朝8時。学校に行く時間。

家を出て約20分。

遅刻すれすれで教室に入る私を、皆が見る。

「笹倉っていつも遅いよな。」

「もうちょっと早く来いよ!」

「お前遅くにしか来れないのか?」

いつもいつも、言われる言葉。

そんな事、わかってる。

わかってるんだけど。

なら早く来いって思うかもしれないけど、私は早く行きたくない。

早く行ったら、早く行っただで色々言われるから。

「笹倉が早いなんてめずらしいすぎるだろ。雨でも降るんじゃないか?」

私はもうどうすればいいかわからないから、遅く行く。

早く行つて雨が降るより、遅く行つて何も無い方が良いからね。

授業の時。班で話し合いをどうたらこうたらとか言つてたけど、

私の班は「班で話し合い」じゃなくなつてる。

私の意見なんて、完全無視だもの。

というより、女子の意見は完全無視つて感じ。

班の話し合いというより、男子の話し合い。

昼食。私の班は会話ゼロ。話してるといえば、男子だけ。

女子が何を言おうと、関係ないだろみたいにしてくる。

私はいつも、こんな日々を過ごしている。

最初は、凄く悲しかったけど、今はもう慣れきつてしまつて。

もうすべてがどうでも良いような。

そんな感じで。

1日の終わりの時。

明日も今日と変わらない日なんだろうなとか考えている。

また、明日も同じ時を過ごす。

変わらぬ日々。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0748c/>

日々

2010年10月13日22時49分発行